

事業報告

1 事業の概要

鈴鹿市総合計画 2031、鈴鹿市文化振興事業団基本方針を指針として、文化芸術事業を企画実施しました。

また今年度から地域に軸足を置いた活動として、地域文化活性化事業を展開し、市内各地域で行われている文化活動の活性化を図るための取り組みを様々な形で実施しました。

まず、地域ネットワーク事業として、鈴鹿市内に28ある地域づくり協議会を対象に、地域文化活動の状況等を調査するとともに、事業団の持つノウハウ等の活用を提案する中で、様々な相談や依頼も受けました。

地域文化支援事業では、その相談や依頼内容の解決等に向けて、丁寧に対応したほか、鈴鹿市内の文化団体、音楽団体等と共催や協力する形で事業を実施しました。

地域文化体験事業では、地域の文化活動や生涯学習の拠点である各公民館を軸に、身近な場所で本物の音楽・落語を楽しんでいただく等文化体験の機会を作りました。また自宅でも文化体験ができるよう、放送セミナーを制作いたしました。

「第56回鈴鹿市美術展」「第33回鈴鹿市文芸賞」は、指定管理者から業務を一部受託し、これまでのノウハウを活かして、運営面で協力しました。鈴鹿市美術展は、令和6年度リニューアルオープンした鈴鹿市文化会館で開催されました。

2 公益目的事業(地域文化活性化事業)

(1) 地域ネットワーク事業

(ア)【地域文化活動調査等事業】 57件実施

① 鈴鹿市内に28ある地域づくり協議会を対象に、地域文化活動の状況等を調査しました。

まず、協議会ごとに配置されている地域づくりコーディネーターに地域の文化活動の状況、地域の文化資源等を確認した後、各地域での役員会議等に参加し、地域文化活動について聞き取るとともに、事業団の持つノウハウやネットワーク等の活用について提案したところ、地域文化活動の効果的な実施に向けた様々な相談や依頼を受けることとなりました。それら様々な相談や依頼に対しては、(2) 地域文化支援事業の(ア) 地域文化相談室の取り組みとして、その解決に向けた支援を行うこととしました。

(イ)【地域情報発信事業】

① 各地域での文化活動調査を通じて得られた地域文化情報を発信することは出来ましたが、そのためのネットワークをつくるまでには至りませんでした。当面は、各地域と事業団との繋がりが確固たるものとなるよう、様々な機会を通じて、地域文化活動等、地域情報発信の取り組みを続けていきます。

② 文化活動調査を通じて得られた深伊沢地域づくり協議会の「わらアート」、庄野地区まちづくり協議会の「東海道庄野宿 宿立 400 周年記念事業」を取材し、文化情報誌「けやき」でその活動情報を発信しました。

- ③ 伝統芸能としての獅子舞を軸としてのネットワークづくりや地域文化を発表する場づくりについて取り組む予定としていましたが、鈴鹿四山の獅子が同様の主旨と取り組みの方向性をもって活動を始めていたことから、事業団として別途に取り組むことは避け、その主体的な活動を適宜支援していくこととしました。

(2) 地域文化支援事業

(ア) 地域文化相談室 15 件

地域文化活動調査の過程等で出された様々な相談や依頼に対して、事業団の持つノウハウやネットワークを用いて事業化等、その解決を図りました。

① 地域イベント協力【庄内桜まつり・長太フェスティバル・国府公民館文化祭】

各地域で行われているイベントへ、事業団保有の音響機材を貸し出しました。

それまで使用していた音響設備への不安が払拭され、参加される地域の方々に楽しんでいただける環境を作ることができました。

② 音響機材ワークショップ

各地域で音響機材の操作が出来る人材を育成するため、音響機材の使い方を学ぶワークショップを実施しました。音響機材を貸し出した地域では、それぞれの会場で実際に音響機材に触れてもらいながら実施しました。また、鈴鹿市文化会館さつきプラザに講師を招いて、市内公民館と地域づくり協議会の関係者を対象とした、初心者向けのワークショップも実施しました。

③ アーティスト派遣協力【久間田公民館文化発表会・国府地域文化祭・鈴鹿市文化会館】

地域等で計画されているイベントへのアーティスト招聘の相談を受け、希望されるアーティストをブッキングしました。また鈴鹿市文化会館リニューアルオープンイベントの際は、彫刻家上原正廣氏による『上原動物園』を実施しました。

④ 鈴鹿市文化振興事業団 Presents 「アイミタガイ」 アンコール上映会 in イオンシネマ鈴鹿

令和 6 年末で鈴鹿市での上映が終了した映画「アイミタガイ」は、原作者が鈴鹿市出身であること等話題も多く、より多くの市民の方へ作品をご覧いただきたいとの相談を受け、イオンシネマ鈴鹿と協力し上映会を実施しました。文化情報誌「けやき」のみでの上映告知であったにもかかわらず、300 席ある座席は、発売初日に完売するなど関心も高く、好評を得ました。

⑤ 鈴鹿市教育委員会からの相談対応

鈴鹿市立中学校における休日の部活動が令和 8 年 10 月に地域へ移行するため、鈴鹿市教育委員会、鈴鹿市文化振興課と協議をしました。また令和 7 年度に実施するモデル事業について指導者への告知を行いました。

また鈴鹿市教育委員会が進めている郷土教育の教材作成の素材として、これまで制作してきた、放送セミナーのデータ活用に協力しました。

上記のほかにも、情報発信依頼や、ワークショップの企画依頼等の案件に対して支援を行いました。

(イ) 文化活動団体支援事業

① 吹奏楽フェスティバル in 鈴鹿 2025

市内にある高校及び中学校の吹奏楽部、小学校の金管バンドクラブによる吹奏楽の演奏会を開催しました。生徒達が日頃取り組んでいる演奏成果の発表機会であるとともに、吹奏楽の奥深さを体験できる楽しいイベントになりました。

② 合唱フェスティバル in 鈴鹿 2024Ⅱ（合唱フェスティバル実行委員会共催）

鈴鹿市内の6つの合唱団によるクリスマスコンサートを行いました。

出演：アンサンブル・ヴォーチェ・リトス、SUZUKA 秋桜、鈴鹿女声コーラス、Suzuka 西部少年少女合唱団、花の和リピート、鈴鹿混声合唱団

③ サーカスの灯・パントマイムワークショップ

特定非営利活動法人こどもサポート鈴鹿と協力し、ラストラダカンパニーを招き、パントマイムの子供向けワークショップを実施しました。定員に近い子供たちが参加し、パントマイムを楽しく学んでいました。また鑑賞劇「サーカスの灯」では、言葉のない幻想的な空間で、大人も子供も楽しめるサイレントショーを実施しました。

(3) 地域文化体験事業

(ア) 市民参加事業

【公民館 Presents ミュージック・ガーデン】（4 講座実施 白子、清和、若松、一ノ宮公民館）
鈴鹿市地域協働課と公民館の協力を得て、8 年目となるミュージック・ガーデンを実施しました。身近な公民館で間近に本格的な演奏を体験していただきました。

【公民館 Presents 公民館落語】（3 講座実施 鼓ヶ浦、箕田、稻生公民館）
鈴鹿市地域協働課と公民館の協力を得て、公民館落語を開催しました。身近な公民館で間近に落語を楽しんでいただきました。

【出前文化講座】（4 講座実施）

① 工作教室 講師：上原 正廣（愛宕、深伊沢、牧田公民館）

② 芸術コース 講師：六谷 春樹（鈴鹿市文化会館 美術工芸室）

講師を派遣し、工作教室、芸術コースを開講しました。会場は市内公民館、鈴鹿市文化会館を使用し、受講生に楽しく学んでいただきました。

(イ) 放送セミナー

【鈴鹿市文化振興事業団 放送セミナー】（1 番組制作）

番組名『庄野宿開宿 400 年記念「庄野の宿に雨が降る」』

株式会社ケーブルネット鈴鹿との共同事業として、毎年テーマを決めて番組を制作しています。今年度は庄野宿開宿 400 年を記念して、江戸時代の庄野の出来事を探りました。

【動画配信】（1 事業実施）

YouTube 配信

本年度制作した放送セミナーを配信しました。

(4) 受託事業

①「第 56 回鈴鹿市美術展」

指定管理者から業務の一部を受託し、美術展運営審議会の事務局を担ったほか、これまでの経験をもとに指定管理者が行う美術展の運営に協力しました。リニューアルオープンした鈴鹿市文化会館での開催となったこともあり、展示数、来場者数とも昨年よりも増加しました。

②「第 33 回鈴鹿市文芸賞」

指定管理者から業務の一部を受託し、文芸賞選考委員会の事務局を担ったほか、これまでの経験をもとに指定管理者が行う文芸賞の運営に協力しました。一般部門では散文（小説・評論等、エッセイ、アフォリズム）、短詩型文学（詩、短歌、俳句、川柳）で 83 作品、ジュニアの部では散文と短詩型文学合わせて 1,151 作品の応募がありました。市内外で長年活躍されている選考委員を中心に審査を行い、各ジャンルで最優秀賞、優秀賞、奨励賞が決定されました。

(5) 広報事業

広報媒体として文化情報誌「けやき」を 2 回（各回 80,000 部）発行し、市の「広報すずか」への折り込みや、県内の主要公共施設等へ配布・配架しました。また、事業ごとにチラシ、ポスターも作成しました。ラジオへの情報提供として FM 三重でのスポット CM も行いました。

3 収益事業

令和 6 年度は収益事業の実施はありませんでした。

4 法人事業

理事会を 3 回、評議員会を 3 回開催しました。